

## 空間 × テクノロジーの研究成果発表イベント『超文化祭 2025』開催決定



### 超文化祭 2025 開催概要

日時：2025年11月26日（水）～28日（金）10:00～17:30

場所：港南ラボ マークスリー [Mk\_3] (LAB、STUDIO) / 東京都港区港南 3-4-27 Warehouse Konan 2F

発表内容（予定）：超指向性スピーカーやXR等のテクノロジーを活用した体験型コンテンツなど。

### “自主実践プロジェクト”とは

リアル空間 × デジタルテクノロジーを追求し、顧客体験価値を創造することを目指す丹青社の CMI センター。“自主実践プロジェクト”は主に CMI センターの若手社員が、主体的に考え、自ら手を動かしながら、「空間をデジタルで変容させる実験・実証」「アライアンスの加速的推進と開拓」「社内人材育成・強化」の3つを目的に、2021年より推進しています。

デジタルとアイデアで空間の可能性を広げる、若手社員主体の“自主実践プロジェクト”における研究活動成果発表イベント『超文化祭 2025』を、丹青社の空間演出技術の研究開発・実証拠点『港南ラボ マークスリー [Mk\_3]』にて、2025年11月26日（水）から28日（金）の3日間にわたり開催します。

丹青社の“自主実践プロジェクト”は、空間体験の価値を最大化・最適化する専門チーム CMI センター（クロスメディアイノベーションセンター）の若手社員を中心に、外部パートナーと協業し、マーケットに新たな「体験価値」を創造する取り組みです。幅広い分野の機器やシステムにアイデアをかけあわせ、デジタルで拡張させる研究活動をかたちにしたソリューションを一堂に集め、皆さまに体験していただく場として 2023 年より「超文化祭」を開催しています。

3回目の開催となる今年は「BLOOM」をテーマに掲げました。2023年の第1回を「種」、2024年の第2回を「発芽」、今年は「開花」と捉え、これまでの取り組みから得た知識経験を踏まえて花開かせたいという思いと、一人ひとりの個性や一つひとつの研究成果を、色とりどりの花として表現しています。社会が大きく転換し、空間がもつ意味が変化するなか、丹青社もさらなる進化を求めて自らチャレンジし、空間の新たな可能性を広げてまいります。

### 超文化祭 2024 の様子

『港南ラボ マークスリー [Mk\_3]』において、2024年11月27日（水）から29日（金）の3日間にわたり開催。複数のプロジェクターを組み合わせた没入映像とそれを投影するシステムを構築し、センサーを活用したゲームコンテンツ『未来の遠隔検査システム テレプレくん』（協力：(株) ニコンクリエイティブ、(株) インタープログラフ、YO YAMASAKI）、グリーンバックの前でアイドルやファンとして振る舞うと、前の体験者の映像やエフェクトと自動で合成され、アイドルのライブステージ映像が生成される参加型メディアアート『だれでも☆アイドル』（協力：GRINDER-MAN）をはじめ、「超文化祭 2024」のために制作した6つのオリジナルコンテンツの展示を行いました。お客様やメディア関係者など、総勢400名を超える方々にご体験いただきました。